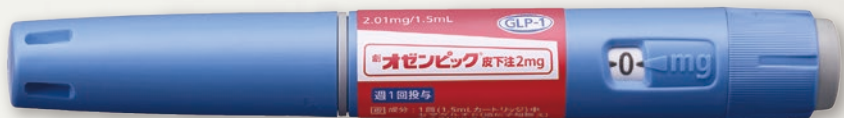


オゼンピック®皮下注2mgを使用される方へ

オゼンピック®皮下注2mgによる 2型糖尿病治療ガイド

より良い血糖マネジメントのために、
週1回投与のオゼンピック®皮下注2mgによる
治療をはじめましょう



オゼンピック®

糖尿病治療の目的は 合併症を防ぐことです

高血糖が長期間持続すると、**合併症**を起こすリスクが高まります。

糖尿病の合併症

- ① 糖尿病に特徴的な**細小血管**(細い血管)**合併症**
網膜症、腎症、神経障害



透析

- ② 糖尿病があると進行しやすい**大血管**(太い血管)**合併症**
動脈硬化による**脳卒中**や**心筋梗塞**、**末梢動脈疾患**に伴う足病変



脳卒中・心筋梗塞



末梢動脈疾患

末梢動脈疾患とは…
足などの血管が狭くなり、
十分に血液が送られず、
主にふくらはぎや太ももに
しびれや痛みが生じます。

- ③ その他、かかりやすく治りにくい**感染症**や**認知症**など

合併症の発症や進行を最小限に食い止めるために、血糖マネジメントを行います。糖尿病に加えて脂質異常症や高血圧、喫煙、肥満、加齢などの危険因子が重なると動脈硬化がより進行するため、合併症がより起こりやすくなることから、これらの危険因子をマネジメントすることも大切です。

患者さんごとの病態に合わせた 薬物療法を行います

経口薬や注射薬などの薬物療法は、患者さん一人ひとりの病態に合わせて処方されます。

患者さんの病態



心臓や血管の
合併症がある？



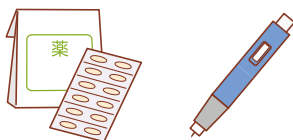
慢性腎臓病が
ある？



肥満が
ある？

処方する薬剤の決定

糖尿病患者さんにみられるさまざまな病態に追加のメリットがあることを報告する糖尿病治療薬が出てきています。
その結果、そうした報告がなされている薬剤が処方されるようになってきました。



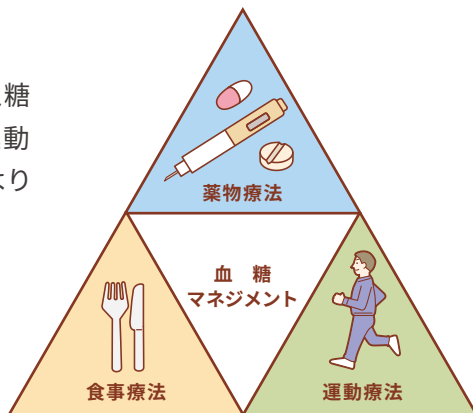
病態に合わせたお薬を選択して、血糖マネジメントを行い、目標値に近づけましょう。

合併症を予防し、糖尿病のない人と変わらない人生を目指していきましょう。

血糖マネジメントにより あなたに合わせた目標値を目指しましょう

血糖マネジメント

治療の基本である適切な血糖マネジメントは、食事療法、運動療法、薬物療法の3本柱により成り立ちます。



血糖コントロール目標

(65歳以上の高齢者については「高齢者糖尿病の血糖コントロール目標」を参照)

コントロール目標値 ^{注4)}			
目 標	血糖正常化を目指す際の目標 ^{注1)}	合併症予防のための目標 ^{注2)}	治療強化が困難な際の目標 ^{注3)}
HbA1c(%)	6.0未満	7.0未満	8.0未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して個別に設定する。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

注4) いずれも成人に対しての目標値であり、また妊娠例は除くものとする。

あなたの現在の病態を確認しましょう

あてはまるものに ✓ をつけましょう。

現在のHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)

- ☐ 6.0%未満 ☐ 6.0～6.9% ☐ 7.0～7.9% ☐ 8.0%以上

BMI(体格指数)＝体重(kg)÷身長(m)²

- ☐ 18.5kg/m²未満(低体重) ☐ 18.5～24.9kg/m²(標準)
☐ 25.0～29.9kg/m²(肥満1度) ☐ 30.0～34.9kg/m²(肥満2度)
☐ 35kg/m²以上(肥満3度以上)

生活習慣

喫 煙 ☐ あり ☐ 以前あり ☐ なし

食習慣 ☐ 食事時間や量が日によって大きく違う ☐ 朝食を抜くことがある
☐ 外食・コンビニ食が多い ☐ 甘い飲み物・間食をよくとる

併存疾患・合併症

血 圧 ☐ 130/80mmHg未満(正常) ☐ 130-139 / 80-89mmHg(境界)
☐ 140/90mmHg以上(高血圧)

脂 質 **LDL-C** ☐ 120mg/dL未満 ☐ 120-139mg/dL ☐ 140mg/dL以上
☐ 中性脂肪(トリグリセリド: TG)が高いといわれた ☐ HDLが低いといわれた

腎機能 ☐ 尿に蛋白(アルブミン)が出ている ☐ eGFRが低下しているといわれた
☐ むくみがある

心 臓 ☐ 狭心症・心筋梗塞の既往 ☐ 胸の痛み・圧迫感がある
☐ 息切れしやすい ☐ なし

脳血管 ☐ 脳梗塞・脳出血の既往 ☐ 手足のしびれ・麻痺
☐ ろれつが回らないことがある ☐ なし

足 ☐ 足のしびれ・痛み ☐ 感覚が鈍い
☐ 傷に気づきにくい ☐ 歩きにくい

オゼンピック®皮下注2mgは GLP-1受容体作動薬です

GLP-1受容体作動薬は血糖値に応じて、すい臓からインスリンを分泌させて血糖値を下げるお薬です。

(インスリンそのものを補充するお薬ではありません。)

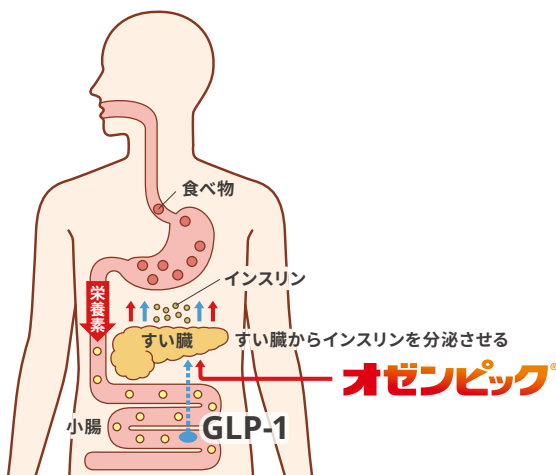


GLP-1は、体内にあるホルモンです。

食事により小腸から分泌され、すい臓に働きかけてインスリンの分泌を促します。

血糖が高いときのみ作用し、血糖値を下げる働きをしますので、必要以上に血糖値を下げることがないのが特徴です。

体内のGLP-1はすぐに分解されてしましますが、オゼンピック®を注射することで、GLP-1と同じように血糖値を下げ、血糖マネジメントを行います。



オゼンピック®皮下注2mgの主な副作用

消化器症状

- 吐き気や下痢・便秘などが起こる場合があります。

吐き気



下痢・便秘



- 数週間で治まることもありますが、気になる症状があらわれたら、自分の判断で治療を止めず、主治医に相談してください。

消化器症状の1つである吐き気があらわれたときの対策

※下記は吐き気に対する一般的な対策ですが、オゼンピック®皮下注2mg使用時に消化器症状が生じた際には、必ず医師または薬剤師に相談しましょう



脂っこい食品は避けましょう。



1回の食事量を減らし、こまめに食事をとるようにしましょう。



においの強いものを避けるようにしましょう。

米国国立衛生研究所(NIH)作成HP (<https://medlineplus.gov/nauseaandvomiting.html>)より抜粋

低血糖

- スルホニルウレア薬やインスリンなどの他の糖尿病のお薬を併用している場合は、低血糖が起こりやすくなるため注意が必要です。低血糖の症状を感じたら、すぐに主治医に相談してください。

手足のふるえ



冷や汗が出る



血の気が引く



疲れやすい



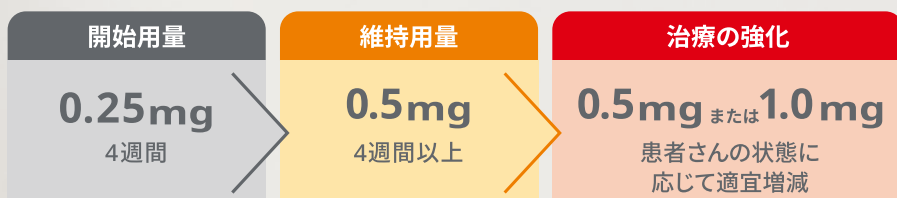
なお、インスリンからオゼンピック®に治療を変更した際に、高血糖をきたす場合があると報告されています。もし高血糖になった場合は、すぐに主治医に相談してください。

他にも気になることがありましたら、主治医に相談してください。

オゼンピック®皮下注2mgは、 1本のペンで3つの用量の設定が可能です。

ダイヤルを回して0.25mg、0.5mg、1.0mgの投与量に設定することができます(11ページ参照)。

必ず主治医に指示された投与量を設定してください。



- ・開始用量の0.25mgは、下痢、便秘、嘔吐などの胃腸障害の発現を防ぐ、または、軽減するための導入用量です。
- ・オゼンピック®は食事と一緒に投与する必要はなく、食事に関係なく投与できます。
- ・投与のタイミングは毎週行っている活動や習慣などと組み合わせ、忘れずに投与できるようにしましょう。

各部の名称

オゼンピック®皮下注2mg



注射針 (A型専用注射針※を用いてください。)



※針の細さは髪の毛2本分とほぼ同等¹⁾です。

写真はペンニードル®プラス(医療機器認証番号:227AABZX00122000)を用いています。

1) Ley B. The Physics FactbookTM (hypertextbook.com/facts/1999/BrianLey.shtml) 1999. Updated 2015

オゼンピック®皮下注2mgを お使いになる前に

注射の 準備

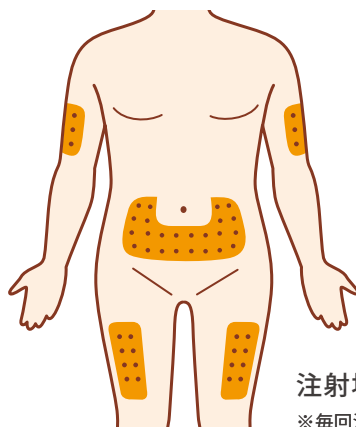
次のような状態の場合には使用しないでください。

- 使用期限が切れている場合
- 一度凍った場合
- 落としたりして衝撃を与えたり、誤った方法で保管されたりしたことにより、注入器の破損や異常がみられる場合
- 薬液が無色澄明でない場合、浮遊物がみられる場合

注射する 場所の 決定

注射する部位を確認してください。

注射部位は、おなか(腹壁)、上腕部の外側、太もも(大腿部)の外側が適しています。必ず主治医の指示に従って、“おなか”なら“おなか”のように毎回同じ部位に注射しましょう。しかし、いつも同じ場所ばかりに注射をしてしまうと、その場所(皮膚)が硬くなってしまい、オゼンピック®皮下注2mgの効き目が悪くなってしまうことがあります。同じ部位の中で、前回注射した場所より少なくとも2～3cm(指2本以上)ずらして広い範囲に注射しましょう。



注射場所

※毎回注射場所を変える

オゼンピック®皮下注2mgの使い方

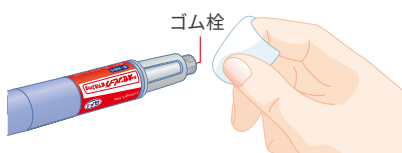
ステップ 1



注射針の取り付け

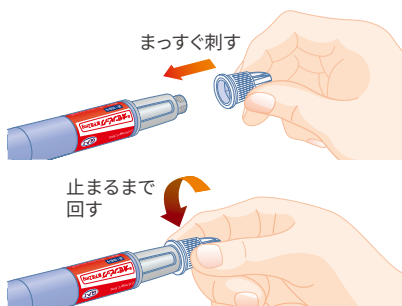
手指を石けんでよく洗ってください。

- 1 オゼンピック®のキャップをはずし、ゴム栓をアルコール綿で拭きます。

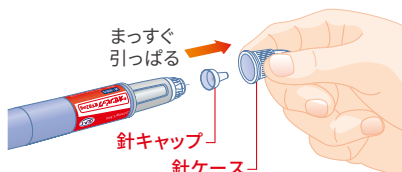


- 2 注射針をゴム栓にまっすぐ奥まで刺し、止まるまで回します。

注射針の保護シールをはがしたら後針が曲がっているなどの異常がないか、確認します。



- 3 「針ケース」と「針キャップ」をまっすぐ引っぱってはずします。



● 針ケースは注射後使用しますので、廃棄しないでください(針キャップは捨ててください)。

初回のみ

ステップ 2

(初回使用時のみ)

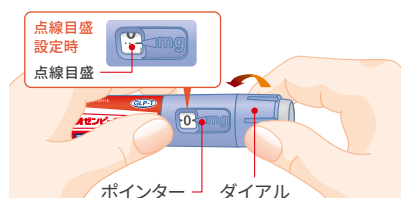


新しいペンを使用する前に

動作確認

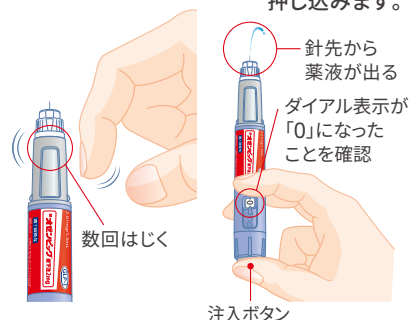
2回目以降は動作確認は不要です。

- a ダイヤル表示が「0」であることを確認したうえで、ダイヤルを「点線目盛(0のすぐ後)」に設定します。



- b カートリッジ内の気泡を上部に集めます。

- c 針先を上に向けたまま、注入ボタンを押し込みます。



ペンの使用が
2回目以降

ステップ3へ

詳しい情報については取扱説明書をご覧ください。また、2型糖尿病

各ステップは動画でもご覧いただけます。各二次元バーコードからご覧ください。

「使い方動画」全編(再生時間 04:04)

<https://video.novonordisk.com/secret/74644738/5533ef1113360de41bb728394bd830fe>



ステップ 3

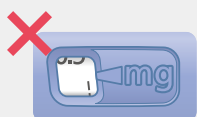


投与量の設定

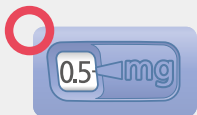
- ④ ダイヤル表示が「0」になっていることを確認のうえ、ダイヤルを回して、指示された量(0.25mg、0.5mg、1.0mgのいずれか)をポインターに合わせます。



ポインター



ポインターからずれている場合



正しくポインターに合わせた場合

ダイヤル表示の数字をきちんとポインターに合わせる

ステップ 4



注射

- ⑤ 注射部位を消毒し、注射針を皮膚の面に対して、まっすぐに根元まで刺してください。



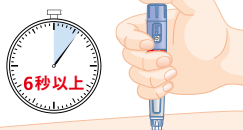
- ⑥ 「カチッ」と音がするまで注入ボタンを真上から押してください。

※必ず確認してください。



- ⑦ 完全に薬液を注入するため、注入ボタンを押した状態で、6秒以上注射針を刺したままにしてください。

ゆっくり数えてください



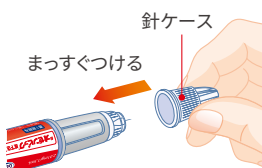
ステップ 5



注射が終わったら

注射後は必ず直ちに注射針をはずしてください。

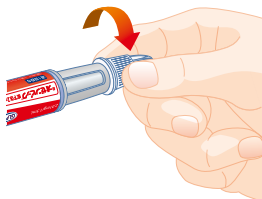
- ⑧ 注射針に「針ケース」をまっすぐつけます。



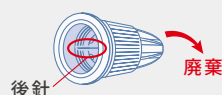
● 針キャップはつけないでください。

- ⑨ 針ケースごと回し、まっすぐ引っぱって注射針をはずします。

注射針を針ケースごと回す



はずした注射針は、後針が折れているなどの異常がないか確認したうえで、**廃棄**します。

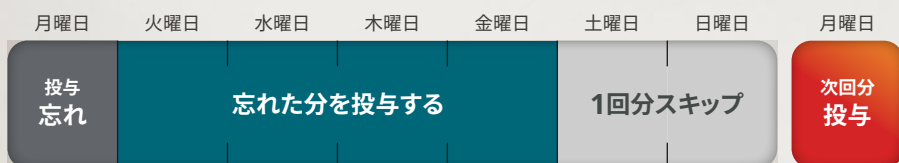


オゼンピック®皮下注2mgの 注射を忘れてしまったら

次の投与予定日まで2日(48時間)以上の場合

気づいた時点で直ちに1回分を投与し、その後はあらかじめ決められた曜日に投与してください。

例)月曜日が投与日の場合



次の投与予定日まで2日(48時間)未満の場合

忘れた分は投与せず、次の投与予定日に1回分を投与してください。

倍の量を投与するなど、忘れた分を埋め合わせないでください。



オゼンピック®皮下注2mgの保管方法

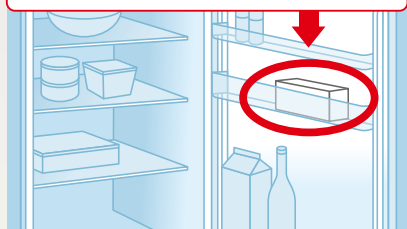
未使用の場合

冷蔵庫で保管してください。

▲ 冷蔵庫で保管する場合の注意

- 凍結させないようにしてください。
フリーザーの中や冷蔵庫内の冷風が直接あたるような場所には置かないでください。
- 一度凍ったオゼンピック®は使用しないでください。
- 冷蔵庫内に食べ物などとは区別して清潔に保管してください。

ドアポケットなどに入れる
(食べ物とは区別／冷風があたらないように)

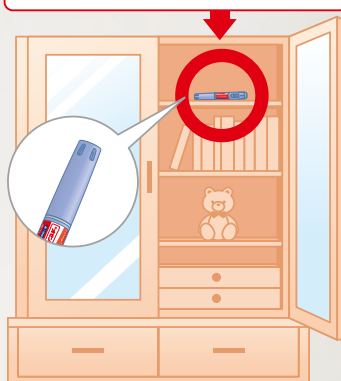


使用中の場合

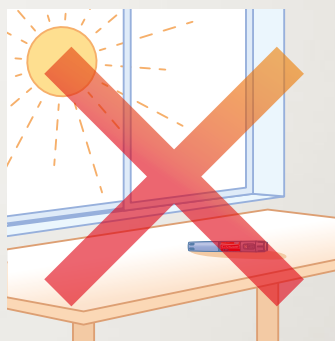
室温(30℃以下)または冷蔵庫で保管してください。

- 使用開始後8週間以内に使用してください。

保管するときは必ず注射針をはずし、
ペンのキャップをつけてください。



- オゼンピック®や注射針などは、お子様などの手の届かないところに保管してください。
- 次のような場所は避けてください。
- ほこりやゴミが付着しやすい場所
- 汚れやすい場所
- 水のかかりやすい場所
- 直射日光のあたる場所(窓辺など)
- 極端に高温または低温になる場所
(自動車内など)



よくある質問

Q オゼンピック®はいつ投与したらいいですか？

A オゼンピック®は、週1回、毎週同じ曜日に投与してください。

Q オゼンピック®は食事と一緒に投与すべきでしょうか？

A オゼンピック®は食事に関係なく投与できます。

Q 投与する曜日を変更したい場合はどうしたらよいですか？

A 前回の投与から2日間以上(48時間以上)経過すれば、曜日の変更は可能です。
新たな曜日を決めた後は、その曜日で週1回の投与を継続してください。

Q 注射の度に空打ちをする必要はありますか？

A このペンは、注射の度に空打ちをする必要はありません。
初回、新しいペンを使用する前にのみ、必ず針先から薬液が出ることを確認してください(動作確認)。
2回目以降のペンの使用の際は、この動作確認は必要ありません。
10ページの「新しいペンを使用する前に」をご参照ください。

Q ダイアル表示が投与量から少しずれても正しい量が出ますか？

A ダイアル表示が0.25mg、0.5mg、1.0mg以外のところでは、絶対に投与しないでください。正しい量を設定するため、ダイアル表示の数字をきちんとポインターに合わせてください。

Q 使用済みの注射針の廃棄方法が通常のゴミと違うのはなぜですか？

A 感染症を防ぐためです。使用済みの注射針の廃棄方法については医療従事者の指示に必ず従ってください。

2型糖尿病の管理や、オゼンピック®の使用法についてご不明な点がございましたら、主治医または医療機関にお問い合わせください。

故障かなと思ったら

	現 象	原 因	対 処 法
初期状態	カートリッジの中に気泡がある	注射針を交換したときにカートリッジの中に気泡が入った可能性があります。	針先を上に向けてオゼンピック®を持ち、カートリッジの上部を指で軽く数回はじいて、カートリッジ内の気泡を上部に集めた後、「新しいペンを使用する前に」(10ページ)の方法で薬液が出ることを確認してから注射をしてください。 ●カートリッジ内の小さな気泡は完全に打ち出すことはできませんが、これは異常ではなく、薬液が出るのが確認されていれば、注射に影響はありません。
	注射針が取り付けられない	注射針に異常がある可能性があります。	①、②の順で対処してください。 ① 注射針を交換してください。 ② 注射針を交換しても取り付けられない場合は、新しいペンに交換してください。
	主治医から指示された量に設定できない	残量が不足しています。(カートリッジ内の残量以上の量は設定できません。)	新しいペンに交換してください。
	ダイヤルが回らない		
新しいペンを使用する前に	「新しいペンを使用する前に(動作確認)」(10ページ)で、薬液が出ない	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	新しい注射針に交換してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」(10ページ)の説明どおり正しく取り付けてください。また、使用前に注射針を曲げたり傷つけないでください。 ●「新しいペンを使用する前に」(10ページ)の方法で、薬液が出ることを確認した後、注射を行ってください。
注 射	ダイヤル表示が「0」に戻っていない	注射針が曲がっている、または針穴が詰まっています。	新しい注射針に交換してください。 ●注射針は「注射針の取り付け」(10ページ)の説明どおり正しく取り付けてください。また、使用前に注射針を曲げたり傷つけないでください。 ●「新しいペンを使用する前に」(10ページ)の方法で、薬液が出ることを確認した後、注射を行ってください。
		注入ボタンを押してダイヤルが回り始めてから、ダイヤル表示が「0」になるまでに時間差があるために、注入ボタンから指を離してしまった可能性があります。	注入ボタンを、ダイヤル表示が「0」になるまで押し続けてください。注射針を抜いた後に気づいた場合は、設定した量の一部の薬液が注射されなかったおそれがあります。主治医に相談してください。

●厳密な品質管理のもとにオゼンピック®を皆様のお手元にお届けしておりますが、万一故障や何らかの不具合がある場合は決して使用せず、医療従事者に相談してください。

詳しい情報については取扱説明書をご覧ください。また、2型糖尿病の管理や、オゼンピック®の使用法についてご不明な点がございましたら、主治医または医療機関にお問い合わせください。



オゼンピック®皮下注2mg 患者さん向けWEBページ

<https://www.novonordisk.co.jp/content/nncorp/jp/ja/products/how-to/injection/ozempic2mg.html>

自己注射の方法の動画など、治療にお役立ていただけるコンテンツをご紹介します。

オゼンピック®を安全に使用するために、注意事項やその他の必要事項の詳細については取扱説明書をご覧ください。

また、自己注射は、主治医の説明を聞いた上で行ってください。

オゼンピック®に関するお問い合わせ（治療内容に関しましては、主治医にご相談ください）

ノボ ルディスク ファーマ株式会社

住友ファーマ株式会社

カスタマーセンター



月曜日から金曜日※
（祝日・会社休日を除く）

☎ **0120-180363**

WEBお問い合わせ
フォームはこちら



※お問い合わせいただいた内容を弊社で確認する時間は平日9～17時（土日祝日および弊社休業日を除く）となります。また、回答に2-3営業日を要しますことをあらかじめご了承ください。

くすり情報センター

0120-885-736

受付：月曜日から金曜日まで
（祝日・会社休日を除く）



旅行や出張などで、日本国外からカスタマーセンターへのお問い合わせが必要な場合は、右記番号でも受け付けいたします。*

03-4571-1399

※受付時間は弊社ホームページに掲載しております。

ホームページはこちら ▶



ノボ ルディスク ファーマ株式会社

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-1-1
www.novonordisk.co.jp

住友ファーマ株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町2-6-8
<https://www.sumitomo-pharma.co.jp/>